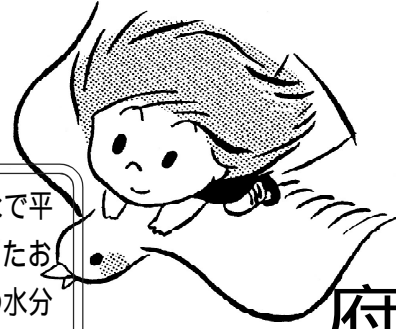


府障教ニュース

平和を願う思いに包まれて



2016年度

府障教女性部総会

6月4日、たかつガーデンで府障教女性部総会を開催しました。今年ば「みんなで平和を考える一時を」と、開会に先立ち、野坂昭如さんの戦争童話集より『凧になったお母さん』のDVD鑑賞をしました。空襲の中、水を欲しがらるわが子に自分の体中の水分を与え尽くして、凧のように空へと舞い上がった母親の物語に、会場はしんと静まり、平和を願う思いに包まれました。続いて、NHK朝の連続ドラマ『朝が来た』の主題歌『365日の紙飛行機』を会場全体で歌い、明るい雰囲気広がっての幕開けとなりました。

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7 11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

あいさつする池側女性部長



開会あいさつを行った池側女性部長は、3月に安保関連法が施行されたことを受けて「2000万署名をやりきろう」夏の参議院選挙で選挙に行つて政治を変えよう」と呼びかけました。府障教の執行部を代表してあいさつした戸田委員長も、通販生活「カタログハウス」に選挙に関する特集が掲載されていることを紹介して、いろいろな立場の人が今の日本に不安を感じていること述べました。



女性部役員のみなさん

教職員が苦しんでいると述べ、「みんなが何でも言える職場には組合が必要。周りの人に組合加入を呼びかけよう。力を合わせていい世の中にしよ」と呼びかけました。討論では、6分会2専門部から発言がありました。高槻分会は、退職された調理員さんの手紙を紹介して、組合の大切さと合わせて、決戦は7月。憲法と民主主義を否定する政権にNOを言いたい」と決意を語りました。

新規採用が増えて、民間委託も増える中で、若い栄養教諭の負担が大きくなっていると述べました。その上で、栄養教諭が病休等を取つた際の代替者が臨時技師であるという問題や、妊娠による体育実技軽減制度の対象でないために出産をあきらめる現状もあることなどを強く訴えました。枚方分会は、開校2年目なのに教室が不足し、設備の不備も多いという学校の状況を報告しました。また、北河内地域で行っている夏の合同宿泊教研の紹介も行いました。青年部は、企画したとりくみの参加者の感想を読むと、「やって良かった」と思えるなどと述べました。そして、役員をすることで出会いがたくさんあり、職場の仕事のおもしろさも深まったと発言しました。佐野分会は、部分休業を取っている人でも、時間通りには帰れないほどの忙しさで、権利が使いつらくなっている状況を報告しました。富田林分会は、4月1日に手作りの料理で歓迎会を開き、たくさんの青年を組合に迎えたとりくみを紹介しました。

府障教ホームページアドレス <http://www1a.biglobe.ne.jp/fushou/> Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



書記局のひとりごと

「ふるさと納税は、自治体に寄付して確定申告すると、所得税・住民税が減税される寄付金の控除制度です。今年度からは、寄付先の自治体に申請すれば、確定申告の必要が無い特例制度が導入されています。総務省のモデルケースでは、減税を受けられる限度額は、年収500万円の独身者の場合で6万1千円、これが年収5千万円の独身者になると200万円に跳ね上がります。ふるさと納税では、寄付金額が限度額以下なら自己負担は2千円と決められています。そのため、年収500万円の人は、減税額が最大5万9千円なのに、年収5千万円の人は最大199万8千円減税されてしまうのです。高額所得者ほど有利になるこうした仕組みに対して、大きな批判が起きています。

その上、今年度からは、「地方創生事業」を行う自治体に企業が寄付すれば、その一部を法人事業税と法人住民税から差し引かれる制度までつくられました。これでは、企業と自治体の癒着も懸念されます。ふるさとを思う気持ちは、寄付金の額だけでは測れません。しかし、自治体同士で寄付金獲得競争が激しくなり、返礼品として寄付額に比例した商品券を贈る自治体も出てきました。2千円の自己負担で数百万円分の商品券を受け取るようなケースも発生し、高額所得者が「税逃れ」に利用しているなどの批判もあります。「ふるさと納税」をめぐる問題の背景には、地方経済の衰退や、地方財源の枯渇があります。平成の大合併の押しつけ、東京一極集中の推進などにより、地方の農林水産業や商店街を衰退させてきた政治の責任は重大です。

府障教定期大会発言ダイジェスト(その3)

一人職種の栄養教諭を支えてください

栄養職員部 武田代議員



の制度では、府立支援学校で栄養教諭の病休代替等が見つからない場合は、ハローワークに登録に行かざるを得ません。

三つ目は、安心して再任用の週3日勤務を選択できるようにしてほしいことです。こうした要求の実現に向けて、組合員の皆さんからの支えを力に、皆で手を取り合ってがんばっていききたいと思います。



新しい仲間とともに大会参加

堺支援学校分会 中野代議員

堺支援分会では、4月1日には初任の先生方のお迎え、手作りのカレーでおもてなしをする新転任オリエンテーションをしています。入学式の頃には新転任の先生方と一緒に近くの大仙公園で新歓花見を行い、堺支援学校の感想や趣味・特技などを語ってもらい、親睦を深めました。分会要求アンケートを実施して、分会集会で意見を出し合い、分会要求書をつくり、分会要求や年度当初人事異動に

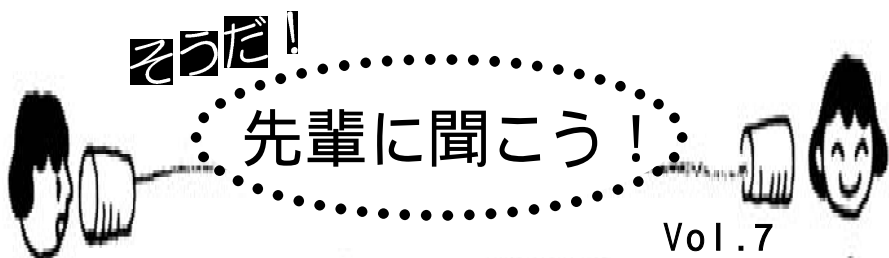
対する熱い思いを語ってもらいました。2月には分会でタオル人形講習会を開催しました。府障教の学習会に参加した組合員が講師になって、みんなでフェイスタオルを使ってタオル人形を作りました。これまで新しい仲間を迎えるときは遅れていました。しかし、今年は4月に新しい組合員を迎えることができ、今日の大会にも参加していただきました。今後新しい仲間を迎える活動に力を入れていきたいと思っています。

栄養教諭の現状を、一人でも多くの教職員の皆さんに知っていただき、専門職で一人職種の栄養教諭、特に寡黙にがんばっている若い栄養教諭を支えていただきたいと思い、発言します。

今年度学校給食を実施している府立25校に加え、府に移管された大阪市立特別支援学校のうち11校で給食が実施されているため、府立支援学校36校に栄養教諭がいま

私たちが当面3つの労働条件の改善を求めています。一つは、栄養教諭も妊娠による体育実技軽減制度の対象にしていただきたいということです。今は対象外なので、誰も取ることができず、一人職種のため産休直前まで仕事が軽減されることがありません。

二つ目は、病休や介護休暇等の代替者を、すみやかに確保するための具体的方策を講じて、代替者は栄養教諭を配置していただきたいです。今



仕事と育児の両立の中で、嬉しかったことや、やってよかったと感じられたことは何ですか。坂下嘉彦(東大阪支援学校分会) 5年目

気づけば我が家の娘が9歳、息子が4歳になりました。この間子育ての中で経験してよかったなと感じたことはたくさんありますが、自分自身にとって大きな糧となったことを2つお伝えします。

【我が子の出産に立ち会ったこと】生命の誕生は本当に神秘かつ奇跡で、感動で震えますよ！これを機に、学校で会う子どもたち一人ひとりの生命に改めて奇跡を感じ、毎日登校してくる姿に感謝や喜びを感じています。

【育児休業を取得したこと】母の介護と息子の出産(娘の育児)が重なり介護休暇と育児休業を併せて取得しました。これまでの先輩方の運動の恩恵と職場の理解と協力をいただき、出産から数ヶ月間、家庭に専念することができました。かけがえのない時間を一番近くで密に過ごせたのは自分の中で大切な宝物です。奥さんも、私の育児休業の取得については今でも喜んでくれています。

仕事と育児の両立に関しては、実は今なお自分の最大の課題です。限られた時間の中で全ては満たせないですね。私はここ数年、仕事に比重が偏りつつある時期が続いていますが、その分家族デーを設けて家族と一緒に過ごす時間を一杯楽しみ、充実するように心がけています。まだまだですが、仕事も育児も大事の欲ばり精神で、どこにバランスをおくかをポイントにして向き合っています。坂下さんも今後育児に励む時がきたら、自分なりのスタイルで育メンしてください。お互いに悩みを相談しあいましょう！(西面友史 守口支援学校分会 14年目)

